苫小牧市で回収された死亡野鳥で高病原性鳥インフルエンザウイルス陽性

10 月 15 日、苫小牧市で回収された死亡野鳥（オオタカ）から、10 月 17 日に高病原性鳥インフルエンザウイルス遺伝子（H5 亜型）が確認されました。今シーズン、道内では初めての事例です。

現時点で道内の家きん飼養農場から異状を認める報告はありません。侵入防止対策について、今一度確認し、衛生管理の徹底をお願いします。

【予防対策の重要ポイント】

●人・物・車両によるウイルス持込み防止

衛生管理区域の出入り時の洗浄・消毒の徹底

衛生管理区域専用の衣服、靴

家きん舎ごとの専用の靴の使用

●野生動物対策

防鳥ネットの設置、修繕

壁の破損・隙間の修繕

家きん舎周囲の清掃、整理・整頓

【農林水産省 HP】
鳥インフルエンザに関する情報

飼養衛生管理基準について

北海道留萌家畜保健衛生所
TEL（開庁日）： 01632-5-1226
TEL（時間外、休日）：0164-42-8404
FAX： 01632-5-1165